

産業建設常任委員会会議録

1 開会日時 令和7年6月17日（火）午前10時0分

2 閉会日時 令和7年6月17日（火）午後0時2分

3 会議場所 委員会室

4 出席委員

1 番 横山 裕太君 2 番 行本 大輔君 8 番 佐藤 武君

11 番 保田 守君 15 番 金谷 文則君 18 番 佐藤 武文君

5 欠席委員

な し

6 説明のために出席した者

市 長 前田 正之君 副 市 長 是松 誠君

産業振興部長 大窄 暢毅君 建設事業部長 桐谷 文昭君

赤坂支所長 小坂 憲広君 熊山支所長 稲生真由美君

吉井支所長 中務 浩行君 産業振興部参与兼
商工観光課長 金島 正樹君

建設事業部参与兼
総合政策部参与 岡本 和典君 農 林 課 長 岡田 浩司君

建設課長 福圓 章浩君 上下水道課長 谷 宣道君

地域整備推進室長 森本 祐司君 赤坂支所
産業建設課長 難波 明則君

熊山支所
産業建設課長 砂子 武久君 吉井支所
産業建設課長 松下 和宏君

7 事務局職員出席者

議会事務局長 原田 光治君 副 参 事 青木 智彦君

8 審査又は調査事件について

1) 請願第3号 ガソリンスタンド併設型コストコの出店による、地域密着型
商業施設ガソリンスタンド経営に係る影響回避と地域密着型
中小企業に対する影響回避についての請願

2) その他

- ・令和7年度事業の補正について
- ・事業の進捗状況について
- ・その他

午前10時0分 開会

○委員長（金谷文則君） ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。

会議の時間短縮に心がけたいと思いますので、執行部の説明及び委員の質疑につきましては簡潔にお願いいたします。

なお、報道関係者の委員会室内での撮影及び電子機器の使用を許可しておりますので御報告いたします。

初めに、前田市長より御挨拶をお願いいたします。

○市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 前田市長。

○市長（前田正之君） 本日は大変お忙しい中、産業建設常任委員会をお開きいただきまして誠にありがとうございます。本日は、予定の審査内容、執行部からは令和7年度事業の補正について、そして事業の進捗状況、その他等についてお諮りをお願いしているところであります。丁寧に説明をしてみたいと思いますので、審査のほうどうぞよろしくをお願いいたします。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございました。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託されました案件は、請願第3号ガソリンスタンド併設型コストコの出店による、地域密着型商業施設ガソリンスタンド経営に係る影響回避と地域密着型中小企業に対する影響回避についての請願の1件であります。

それでは、請願の審査に入ります。

請願第3号ガソリンスタンド併設型コストコの出店による、地域密着型商業施設ガソリンスタンド経営に係る影響回避と地域密着型中小企業に対する影響回避についての請願を議題とし、これから審査を行います。

資料は、産業建設常任委員会のフォルダー、令和7年、6月17日に格納しております。また、岡山県石油商業組合赤磐支部長から請願と同様の趣旨の要望書が提出されております。こちらにもタブレットに格納しております。事前に確認していただいていると思います。

この請願の紹介議員は本日いらっしゃいませんので、委員の皆様方の御意見を順番にお伺いしたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのようにさせていただきます。

まず、佐藤委員から御意見のほう、順番にお願いいたします。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武文委員。

○委員（佐藤武文君） 私は、この請願に関しては前回いただいた請願のときにも賛成をさせ

ていただいております。

その理由は、我々住んでおります住民にとりまして、旧来地区のガソリンスタンドはなくてはならない、要するに地域に密着したガソリンスタンドであり、そして我々少子高齢化に伴い、なかなかガソリンスタンドまで給油に行くことができないというようなことの中で、重油あるいは灯油を我々の手元まで運んできていただける。今回計画がされておられますコストコのガソリンスタンドについてはそういうことは一切なされないというようなことの中で、私は地域のガソリンスタンドはなくてはならない、育てていかなければならないという、我々はその責務を感じておるといように思っております。そういうようなことの中で、今回もこの請願に私は賛成をさせていただきたいというふうに思います。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いて横山委員、お願いいたします。

○委員（横山裕太君） 私も佐藤武文委員と同じで、この請願には賛成いたします。

理由としましては、我々行政に関わる者として、やっぱり市民の生活をよくするっていうのがミッションだと思うんですけども、このコストコが来ることによって、もしそこにお客さんが集中してほかのガソリンスタンドの経営が成り立たない、そんな状況になりましたら、今佐藤武文委員のあったとおり、今まで受けられてたサービスを市民の方が受けられなくなってしまう。冒頭で市民の生活をよくするのがミッションと言いましたが、今の生活よりさらに悪くなってしまふという事態が想定されます。山間部なんかはプロパンガスをガソリンスタンドの方が持ってきてくれたり、本当単純にコストコはガソリンを売るだけですが、それ以外の地域のために役に立つことを、必要なことを各ガソリンスタンドは行っておりますので、これを守るっていうのは、前市長がトップセールスでコストコを誘致したのであれば、その分市民の生活が悪くならないようにするのが市の責任だと思いますので、この請願には賛成いたします。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続きまして佐藤武委員、お願いいたします。

○委員（佐藤 武君） これ、1回請願が出されまして、その結果を受けて、再び同じような趣旨の請願が出されたということですが、まず赤磐市に進出予定であるコストコ、それからナカシマということで、今新拠点整備事業、本当に進めばいいなというふうに思うわけですが、現在造成工事の事業費もストップがかかっているような状況の中で、このコストコについて具体的な名前が上がっているわけですが、この進出についてはまだ具体的な判断がなされていないという状況の中で、この請願について結果を出すのではなくて、いましばらくその状況を見ながら継続審査という形で私は判断をしたいというふうに思います。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続きまして保田委員、お願いいたします。

○委員（保田 守君） 私は、この請願に反対の立場で前回はやりました。

それで今、私自身は地域のガソリンスタンドをやられてる方もいろんな、悪いことばかりじゃなしに、自分も営業努力をして原状回復するようにせにゃあおえんという考え方を持つんですけど、佐藤武委員が言われたように、コストコが正式に決まるとるわけでもありません。そしたら、今の現実から見たら、継続審査にすれば、私たちもその間にいろんなところへコストコがあるのを視察に行けます。それで小売業者の方にどんな影響が出てるかということも確認できるはずですよ。そういう結果を受けてのことなら分かるんですけど、やはりここは継続審査ということをお願いいたします。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続きまして、行本副委員長、お願いいたします。

○副委員長（行本大輔君） 私も、今回の請願なんですけど、今おっしゃられましたように、審査がまだ十分になされてない中で、時期的にはこれを今の段階で決めてしまうのは早いのかなというふうに少し感じてる部分もあるんですが、一応今回の請願に関しましては賛成のほうで進めていきたいと思っております。

理由に関しましては、今まで委員の皆さんがおっしゃられましたが、市としても地域の商業を支えていくという観点からも、地域の商業を守る、これは非常に重要なことだと考えています。そしてまた、地域に根づいたガソリンスタンドだからこそ、ふだん灯油だったりとかそういうものを購入に来られるお客さんが、しばらく顔を見ないなというようなところから、そういうお年寄りの皆さんのコミュニケーションの場の一つとしても必要なのではないのかなというふうに考えてますので、賛成いたします。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

それでは、皆さんの御意見が出ましたので、これで請願について採決に入らせていただきたいと思いますが、継続審査という御意見がお二方からありました。

その御意見がありましたので、そのことについて先に採決をしていきたいと思っております。

それでは、請願第3号について、これを継続審査とすることに賛成の方は起立をお願いいたします。

〔賛成者起立〕

○委員長（金谷文則君） 賛成少数ということで継続審査は否決ということになりました。

続きまして、請願第3号の採決に移ってきたいと思っております。

それでは改めまして、請願第3号ガソリンスタンド併設型コストコの出店による、地域密着型商業施設ガソリンスタンド経営に係る影響回避と地域密着型中小企業に対する影響回避についての請願について、これを採択することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（金谷文則君） 起立多数であります。よって、請願第3号は採択することに決定いたしました。

以上で当委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

次に、閉会中の継続調査及び審査についての御確認をお願いしたいと思います。

配付しておりますとおり、議長に対し閉会中の継続調査及び審査の申出をしたいと思いますが、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのように申出をいたします。

次に、閉会中の委員派遣についてお諮りいたします。

閉会中の審査及び調査案件の調査のため委員派遣を行う必要が生じた場合、議長に対し委員派遣承認要求を行うこととし、派遣委員、日時、場所、目的及び経費等の手続につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのようにさせていただきます。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのようにさせていただきます。

次に、その他に入ります。

まず、令和7年度事業の補正について、産業振興部、建設事業部から説明をいただいた後に質疑を行いたいと思います。

資料はタブレットの中の本会議フォルダー、議案・説明資料の中の補正予算説明資料を使用しております。

なお、説明及び質疑の際は、資料のページ番号を言ってから行うようお願いいたします。

また、予算常任委員会では所管委員会の部分は質疑ができないことになっておりますので、この委員会で十分聞いていただくようお願いをしたいと思います。

それでは、執行部より説明をお願いいたします。

まず、産業振興部から順次お願いいたします。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） それでは、令和7年度事業の補正について、農林課部分について補足説明いたします。

補正予算説明資料の14ページ、15ページを御覧ください。

中ほどにあります6款1項3目農業振興費におきまして、旧赤坂天然ライスの排水処理施設

解体工事及び舗装復旧工事に係る経費として1,600万円を計上しております。また、是里ワイナリーポンプ設備に係る経費として316万3,000円を計上しております。

なお、旧赤坂天然ライスの排水処理施設解体工事及び舗装復旧工事に係る経費の財源につきましては、補正予算説明資料の8ページ、9ページ、20款1項3目その他特定目的基金繰入金に公共施設等整備基金繰入金として計上されております。

農林課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 続いてお願いします。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 金島産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 続いて、商工観光課から御説明いたします。

補正予算説明資料、同じく14ページ、15ページをお願いいたします。

一番下のところになります。7款商工費、1項商工費、3目観光費、施設維持管理費では、英国庭園及び竜天文台改修等に係る経費の増額。これに伴う財源としまして過疎対策事業債及び商工債を充当する予定でございます。

次に、資料16ページ、17ページをお願いします。

一番上段になります。観光振興対策事業費では、熊山英国庭園25周年事業及びお笑い赤坂亭30周年定例寄席に係る経費の増額でございます。

以上で産業振興部の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） 続いて建設事業部、お願いいたします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課から補足説明をさせていただきます。

補正予算説明資料の14ページをお願いいたします。

本年度の当初予算におきましては義務的経費のみを計上しておりますので、今回地元からの要望による維持補修であるとか改良などの補正をさせていただく予定としておりまして、工事場所は建設事業部資料の12ページへ位置図を添付しておりますので併せて御確認をお願いします。

6款1項5目で、小規模ため池補強事業費につきましては、日古木大池において令和7年1月中旬に斜樋管からの漏水が確認されましたが、本復旧をするためには長期間を要し、営農に支障が生じるため、地元と協議を行った結果、3月初旬に応急修繕を実施しております。営農が可能な状態にはなっておりますが、まだ完全には止水できていないため稲刈り後に本復旧工事を行う必要があり、それに伴う測量設計委託料、工事請負費を計上しております。

続きまして、補正予算説明資料16ページをお願いいたします。

8款2項2目で、道路維持管理事業は、昨年8月に盗難に遭った市道橋の橋名板の復旧に要する原材料費を計上しております。

8款2項3目で、道路改良事業につきましては、今年度建設課所管におきまして多くの工事及び業務を行う予定であります。それに対応するための技術者が不足しております。その不足を解消し、業務が滞らないようにするため、変更数量の取りまとめ、変更図面の作成など技術支援業務に要する委託料を計上しております。

以上で建設課の補足説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） 続いて上下水道課。

○上下水道課長（谷 宣道君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 谷上下水道課長。

○上下水道課長（谷 宣道君） 続きまして、上下水道課から補足説明をさせていただきます。

補正予算説明資料14ページ、15ページをお開きください。

4款2項1目清掃総務費につきまして、浄化槽整備補助事業を計上しております。今回の補正予算につきましては、下水道供用開始区域との接続要件等の地域格差軽減及び公共水域の水質保全を図ることを目的として、供用開始区域外の事業所への補助金交付を今年度試行的に開始するもので、10人槽以上の申請が予想されることから補正予算を計上いたしているものです。内容につきましては、11人槽以上で補助金額93万9,000円掛ける2基分で合計187万8,000円でございます。

以上で上下水道課からの補足説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

ただいまの説明につきまして、まず産業振興部関係から質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） まず、予算資料の17ページになりますけれども、熊山英国庭園25周年、それからお笑い赤坂亭30周年、経費の増額ということですが、具体的にどういうことをされるのか教えていただけますか。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いいたします。

○熊山支所産業建設課長（砂子武久君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 砂子熊山支所産業建設課長。

○熊山支所産業建設課長（砂子武久君） 25周年企画についてですが、包括連携企業との地域イベントを何回か計画しています。それについては岡山シーガルズのストレッチとかおやつ教

室、大塚製菓との体験教室、クルーズ、マクドナルドの教室と、L I X I Lの4つを一応メインイベントとして考えております。それから、地域周遊企画ということで地域のケーキ屋やパン屋、ああいったところに25周年に関係したメニューを作ってもらって、それを宣伝するような感じになります。

以上です。

○赤坂支所産業建設課長（難波明則君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 難波赤坂支所産業建設課長。

○赤坂支所産業建設課長（難波明則君） お笑い赤坂亭30周年記念イベントですけれども、若手落語家、また師匠の寄席を計画しております。また、いつ、どこで、どのようにするかについては、詳しいことは支所及び市役所内関係部署と今後協議をしていく予定です。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） 結構です。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、産業振興部については以上で質疑を終わりたいと思います。

続きまして建設事業部関係の質疑をお願いいたします。

質疑はございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 17ページになると思いますが、草刈り作業の委託料が約750万円計上されておりますけれども、これの委託先はどういうふうになっておりますか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 委託先につきましては、一般の民間業者の予定にしております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員、よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、以上で建設事業部関係の質疑は終了したいと思います。

それでは、以上で令和7年度事業の補正については終わりたいと思います。

続きまして、事業の進捗状況について、資料は産業建設常任委員会フォルダー、令和7年6月、6月17日の会議資料というところに格納してありますので御確認をお願いしたいと思えます。

それでは、執行部より説明をお願いいたします。

まず、産業振興部から順次お願いしたいと思えます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） それでは、産業建設常任委員会資料2ページを御覧ください。

2、事業の進捗状況について農林課所管部分について御説明いたします。

(1) 鳥獣被害防止総合支援事業です。

7月8日に総会を開催予定としております鳥獣被害防止対策協議会において、本年度実施予定の事業でございます。令和7年度事業計画としまして、1)「STOP鳥獣被害！集落連携事業」のカラス対策事業です。鴨前、西中地区において、鷹匠による追い払いを6月末から8月中旬にかけて10回予定しております。カラス対策につきましては令和3年度より実施しており、実施区域よりカラス被害が少なくなっているとの声が上がっており、カラス対策の効果が出ているものと考えておりますが、地元農業者からは、ワタリガラスに効果はあるが地ガラスは慣れてきているという、そういった声も上がっております。今回購入する鳥獣害駆除用ドローンを活用しながら効果的に実施したいと考えております。また、本来であれば赤磐市鳥獣被害防止対策協議会において承認を得てから事業実施するところではございますが、桃の被害対策時期を逃さないため、会長、副会長の承認を得て実施することとしております。

次に、2)赤磐市有害鳥獣セミナーですが、令和8年2月を開催予定としております。セミナーの内容としましては、新規狩猟者向けのくくりわなの講習会、獣害対策の講演会、狩猟免許の取得説明、鳥獣害駆除用ドローンの実演を予定しております。本年度の講演会につきましては、新規狩猟者の確保に向けた取組として、多くの方が狩猟に興味を持っていただけるようなイベントとなるよう検討を進めているところでございます。また、前年度の反省点としまして、平日に前年度は開催をしております。参加ができなかったとの御意見をいただいたため、今回は日曜日の開催を予定しております。

次に、3)捕獲おりの購入及び設置につきましては、猟友会と調整し購入する予定としております。

次に、4)被害地域専門家緊急投入事業です。こちらは、地域住民からの農作物被害の報告に対して迅速に専門家を投入し、被害に対して最適な対策を提案する事業となっております。また、地域、行政、猟友会が連携して対策をすることで、農作物被害の減少はもとより地域の主体性、行政の知識、猟友会の対策技術の向上を目指すものです。また、多くの方に知っていた

だくよう、ホームページにも掲載をしております。

次に、5)鳥獣害駆除用ドローン貸出事業です。現在貸出し準備を進めているドローンについては、納入時期が7月頃の予定となっております。貸出し可能な事業主体は、基本的には区または生産部会となっております。貸出要件としましては、免許取得者が事業主体に含まれていること、傷害保険、損害保険に加入することとしております。操縦免許取得に関しましては、筆記及び実技試験を受ける必要があります。時期、試験会場につきましては7月から8月を予定しており、会場の調整を現在進めているところでございます。免許取得費用につきましては、赤磐市鳥獣被害防止対策協議会において2分の1の補助を実施いたします。

また、資料4ページから5ページに鳥獣害駆除用ドローンの仕様書を添付しておりますので、後ほど御確認ください。

続きまして、資料の3ページを御覧ください。

次に、6)捕獲個体搬入確認者についてですが、現在赤磐市の鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業に係る捕獲個体の搬入確認者として認定している業者は、株式会社どんぐりのみとなっております。そちらの情報につきまして記載をしておりますので御確認ください。

次に、資料6ページを御覧ください。

こちらは統計資料となっております、令和6年度までの実績の御報告でございます。

①有害鳥獣捕獲事業ですが、中ほどに記載してある①(2)獣種別・捕獲エリア別捕獲数を御覧ください。

左から御覧いただきまして、捕獲頭数を御覧いただきますと、イノシシが1,448頭、鹿501頭、猿22頭と、主要獣種3種については御覧のような捕獲頭数となっております。イノシシにつきましては、吉井、赤坂地域において捕獲数が半減し、全体で約400頭の減少傾向となっております。鹿につきましては、熊山地域では増加、山陽地域では大きく減少するなどし、全体で40頭の減少となっております。今後さらに対策を進め、被害の減少に努めたいと考えております。

次に、資料7ページを御覧ください。

上段の②防護柵設置事業を御覧ください。

昨年度は電気柵が1万5,286メートル、ワイヤーメッシュが3,124メートルの設置に対し補助を行っております。

次に、資料右上の③狩猟者確保事業ですが、下側の円グラフを御覧いただきますと、狩猟者の平均年齢は、わな猟は64.4歳、銃猟は63.0歳となっております。猟友会の人数につきましては令和5年度から8人の増となっており、現在176人となっております。今後につきましても、獣害に対して防御力を維持するために猟友会と連携し、引き続き若い世代への技術伝承や担い手の確保を進めてまいりたいと考えております。

農林課からは以上でございます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

続いてお願いします。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 金島産業振興部参与。

○産業振興部参与兼商工観光課長（金島正樹君） 続いて、商工観光課から御説明いたします。

資料3ページをお願いいたします。

(2)あかいわ創業塾について。市内での創業促進を目的に、創業を考えている人、創業して間もない事業者を対象に、創業に必要な知識、ノウハウ等を取得するため、中小企業診断士や商工会職員による講座を実施するものでございます。今年度は夏、冬の2回の創業塾を予定しております。1回目のコースとしまして6月14日に開幕し、7月5日までの間で経営、財務、販路、人材育成などの講座を全4回開催します。全て受講された方に修了証を交付し、修了証を交付された方には赤磐市が証明書を発行することにより、会社設立時の登録免許税の軽減や信用保証協会の信用保証などの特例を受けることができます。

資料8ページ、9ページにチラシを添付しており、10ページに平成27年度からの実績を添付していますので、後ほど御確認ください。

以上で産業振興部の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

建設事業部、続いてお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課から事業の進捗状況についてということで、(1)市道舗装改良工事の実施について説明をさせていただきます。

資料13ページをお願いします。

左肩に市道舗装改良工事箇所図と書いた位置図をお願いいたします。

令和6年度におきまして、市道の劣化状況を確認するため、一、二級市道約266キロメートルを対象に路面性状調査を実施いたしました。これにより、ひび割れ率、わだち掘れ等を計測し、結果、修繕が必要であると判定された路線延長は、該当路線の約2割に当たります約50キロメートルの修繕が必要であるという結果になってございます。その結果を基に、今年度において、図面のとおり4.2キロメートルの区間で舗装改良工事を実施する計画をしております。

実施箇所の選定に当たりましては、今回の計画ではひび割れ率が高い路線から優先的に改良することとしております。来年度以降の計画につきましては、今回と同様、ひび割れ率が高い路線を基本として、交通量や地元要望などを考慮して改良箇所の選定をまいります。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

説明が終わりました。

ただいまの説明について、まず産業振興部関係の質疑はございませんか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 鳥獣被害の事業について質問なんですけども、イノシシや鹿の捕獲頭数が、6ページによると前年より減ってるということなんですけど、これはイノシシや鹿の数がそもそも減ったからこうなったのか、それとも捕獲できてないからこうなったのか、どうお考えでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 捕獲頭数ということで上げさせていただいておりますが、実際の山にいる獣とか、そういった数は基本的には把握が非常に難しいものとなっております。捕獲頭数といった形でしか表現ができておりませんが、例年、大体3年から4年をループで減少と増加を繰り返しておる状況でございます。昨年度につきましては今までで一番多い、昨年といえますのが令和5年度の実績が今までで最大の数値となっております、そこからは去年は400頭の減少といったような状況になっております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 横山委員、よろしいでしょうか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） 御回答ありがとうございます。

ちょっと、山にいる獣の数の把握はもちろんできないとは思いますが、やっぱりまだまだこれからもずっと施策を打っていかなくちゃいけないかなとは思っているところですし、それで一般質問の内容ともかぶるんですが、こちらの3ページに捕獲個体搬入確認者というところでどんぐりの御紹介があるんですけども、一般質問と重複するんですが、このどんぐりが無償で各現場に都度訪問をしてるっていうことがかなりの負担で、どんぐりとしては非常に赤字でやっていると。でもこの方、会社としては岡山市の事業所ですが、住んでるのは赤磐市なので、やっぱり地元赤磐市のために放置されたりとか、この鳥獣被害を何とか食い止めたっていう思いで無償でやっていただいているんですけども、やっぱりこういう赤磐市民のこの1人の方に苦しんでもらって、赤磐市として甘え続けるわけにはいかないかなと思いますので、この方が望まれてる、都度取りに行くのではなく、皆さんが捕獲した獣を1か所に集めてそこに取りに行くっていう形で負担を減らすっていうことを、ぜひ赤磐市として実施してもらいたいなど。という

のは、今こうやって被害、今の答弁でもあったとおり、獣の数は劇的に減ってるわけではないので、資料の7ページにもあるとおり、狩猟者が平均年齢63歳ということで、この高齢の方々はやめてしまったらさらに捕獲の事業が厳しくなってしまうという中で、どんぐりがやめてしまったら狩猟者も、ちょっとこれじゃ続けられないということでやめてしまうということになりますので、今よりさらに悪くならないようにってということで、このどんぐりが望まれてる集積場、処理場っていうところは、この事業の中にぜひ入れていただきたいなと思います。

例えば、真庭市なんかは林業にすごい力を入れてるのは御存じかと思うんですけども、鹿が新しく植林した芽を食べてしまうので、本当に真庭市長は、この鹿を全部撲滅するぐらいの勢いでジビエカーを走らせたり、そういった形で捕獲後のことについても非常に力を入れられますので、赤磐市も農業が基幹産業だということであればこれは絶対に必要かなと思いますので、ぜひこの設置についてよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁をお願いいたします。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） ありがとうございます。

捕獲個体搬入確認者として、赤磐市で唯一のどんぐりでございます。地域の狩猟者の方からも、現場まで取りに来てくれるということで非常にありがたいという声はいただいております。それで、まずは各猟友会において協議、それから必要に応じてアンケートなどを実施しまして現状把握に努めたいと考えております。その後、鳥獣協において検討し、皆さんの意見を踏まえながら、この件につきましては進めていきたいと考えております。

また、御意見いただきました冷凍の保存施設、そういったもの、一度現地のほうに行ってみたいと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） どうもありがとうございます。

すみません、訂正として、今冷凍っておっしゃったんですけど、御希望されてるのは冷蔵です。なので、岡山市でいうと、いきなりお金はかけられないので、お米の冷蔵庫をそれ用として取りあえず使いましょうという形で進めているみたいなので、そんな形でできるところからぜひお願ひしたいと思います。答弁は大丈夫です。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。関連質問いいですか。

○委員長（金谷文則君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 捕獲個体搬入確認者で唯一のどんぐりという説明があったんですけれ

ども、ちょっと教えてください。

市として、あくまでボランティアということで、市の補助金とか一切そういう支出はされていないんですか、これは。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） この捕獲個体搬入確認者に対しての補助はございません。狩猟者がジビエのほうに利用される場合には2,000円の上乗せがございます。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

保田委員。

○委員（保田 守君） 私も、鷹匠による追い払いというんですか、カラスのあれを見に行ったことがあるんですけど、まだその頃には地ガラスとワタリガラスですか、そういう話もあんまりなかったんで。どのぐらいの比率でおるもんですか。鷹を放して地ガラスにはまるきり効果が出ないということなんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 地ガラスとワタリガラスについてですが、地ガラス、今地元の農業者に確認をしたら、大体巣が三つ、四つ、それくらいのもので地に根づいているといったことを聞いております。大半はワタリガラスということで、鷹匠が追ったときには地ガラスが慣れてるとはいえ、やはり逃げるのは逃げる。ただ、すぐその巣に一旦戻ってまたすぐ帰ってくるといったような、そういった状況が見受けられるといったことを聞いております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 保田委員、よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 捕獲おりが10基、小型獣専用というて書いとんだけど、これは何を対象にしたもんですか。

それから、くくりわなの講習会というのは、このくくりわなそのものはイノシシだけのくくりわななんですか、小型もひっくるめたものなんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） 小型の捕獲おりということですが、捕れるものとしましてはタヌキ、ヌートリアとかその辺の多少小さいものです。これは、一応予定数として10基上げさせてもらっておりますが、利用者のほうから大きいのが要るといえば、数を調整して実施をする

と。
それから、くくりわなの対象ですが、主にイノシシ、鹿と考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） よろしい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

あと、私のほうから、今の鳥獣被害のところアライグマの数字が出てないですね。アライグマは、当初熊山で相当増えて、たくさん今でも捕っとられると思いますし、それから吉井はまさに今すごく増えている。それから、ついこの間も赤坂のほうから捕獲できたということで、イチゴとかぶどうを作っておられる人が大変な被害をずっと受けておられるということなんですけど、それに対しての数量、対策、その辺はいかがでしょうか。

岡田課長。

○農林課長（岡田浩司君） アライグマについてですが、すみません、現在資料を持ち合わせていませんが、実際に捕獲頭数のほうは少しずつではございますが増えているといったことを聞いております。今後、もしそのような対策が必要になった場合には、先ほど申しました被害地域専門家緊急投入事業で対策をしていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 以前からずっとあることで、アライグマについては対策をしなければいけない、これはもう前々から言ってもう何年にもなる、ずっとこの委員会でやっていますので、専門家の対応が何かあったらというようなことをやっておるんじゃないかと、やらないと相当数いますので、その辺のところはしっかり考えて、早急に対応はお願いをしたいと思います。

他にございませんか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） このドローンは、カラス対策でこのドローンを飛ばすということなんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） こちらのドローンは、拡声器、それから花火のようなものがつくようになっております。基本的には音声、カラスには忌避音声を流して対策、それから山のイノシシとかそういった獣を追うときにはそこから猟犬の音声、ほえる音を鳴らして対策、それから場合によっては猿とかには花火を鳴らして対策することも可能だと考えております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

保田委員。

○委員（保田 守君） 役場の職員がついていって操作してもらおうという要望があれば行くわけですか。これ、なかなか免許というも持ってもらえる人が少ないと思うし、今の担当課の中でドローンが操作できる人が何人おられるんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○農林課長（岡田浩司君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡田農林課長。

○農林課長（岡田浩司君） こちらのドローンの操縦なんですが、基本的には市の人間、今誰も持っていません。区の方も持っていません。ドローンは機体に対する免許になりますので、今後ドローンを購入して、その専用の講師をお呼びして免許の取得、こういったことを考えております。地元の方が取る場合には、その免許費用の半分の補助を出すように考えております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（保田 守君） よろしい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようでございますので、産業振興部については以上で質疑を終わりたいと思います。

続きまして、建設事業部関係の質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようですので、建設事業部については以上で質疑を終了いたします。

これで、進捗状況については終わらせていただきます。

続きまして、その他、執行部から説明をお願いしたいと思います。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、3、その他につきまして(1)新拠点の渋滞対策について建設課から説明をさせていただきます。

委員会資料の14ページからをお願いいたします。

まず15ページに今回渋滞対策の渋滞状況の解析の条件を記載しておりますが、令和3年度の道路交通センサスや国土交通省のデータを用いており、道路の管路部におきましては混雑度を指標として解析を行っております。

混雑度につきましては16ページに内容を記載しておりますが、今回混雑度1.25を超える場合が混雑しているとして、17ページから解析結果を整理してございます。

まず、17ページにつきましては、現況の平日の混雑度を示しております、1.25を超える赤の路線につきましては新大原橋と瀬戸のJRアンダーから先が今のところ2車線であり、それぞれ混雑が発生しております。下市下橋から赤坂方面に向けても信号が連続しており、また2車線しかないため混雑が発生しておる現状になってございます。

18ページにつきましては、将来交通量に開発後の交通量をプラスした開発後の混雑度を示しております、混雑する区間としましては現況とあまり変わっておりませんが、現況と比べて混雑度は大きくなってございます。

続きまして、19ページにつきましては、これも開発後の混雑度を示している資料でございますが、こちらは新大原橋が4車線化した場合の混雑度を示しております、岡山市方面に向けての混雑度は1.25以下に下がっております。

続きまして、20ページは現況の休日の混雑度を示しております、平日同様、新大原橋から岡山市方面、JRアンダーから平島方面、下市下橋から赤坂方面の混雑度が高くなってございますが、混雑度1.25を超える区間はございません。

21ページが開発後の混雑度を示しております、現況より混雑度が大きくなったことによりまして、先ほどの区間におきましては1.25を超えた赤色の区間となっております。

22ページも開発後の混雑度を示しておりますが、平日同様、新大原橋が4車線化された場合は、岡山市方面に向けての混雑度は下がっております。

以上のことから、新大原橋及び瀬戸のJRアンダーの4車線化は広域の混雑解消に向けての重要な施策であるため、管理者である岡山市に向けて、この調査結果の報告と4車線化の工事促進の働きかけを今行っているところでございます。

続きまして、渋滞が予想される交差点についてでございます。

資料が23ページからになります、交差点につきましては交差点需要率を指標として解析を行っております。

まず、新下市交差点につきましては25ページ、26ページに解析結果をお示ししております。

左の棒グラフですが、黄色の棒グラフが現況、青色が開発後の将来の状況を示しております、平日、休日ともに流入部の交通容量比及び交差点需要率がおおむね1.0を上回る結果とな

り、交通渋滞の懸念があるとの結果になっております。この対策として、県道西大寺山陽線に左折専用車線を設置した場合は交差点需要率が緑色の棒グラフのとおり1.0を下回る結果となることから、管理者である岡山県に向けて左折専用車線の設置を検討していただくよう要望しているところでございます。また、下市交差点との間隔が短く、一時的に直進車両の滞留の影響により渋滞が発生していることが考えられるため、交通管理者である警察に向けて、信号現示の見直しを検討してもらう必要があると考えております。

次に、山陽インターチェンジ交差点ですが、資料は28ページからになります。

山陽インターチェンジの交差点につきましては、平日、休日ともに1.0を大きく下回る結果となっておりますが、29ページの下の表にありますとおり、平日の右折レーンの滞留長が一時的に不足する時間帯があることが予測されるため、信号現示の変更などの対策を検討していただくよう、警察と調整をいたします。また、影響は小さいと考えますが、渋滞した場合において、後尾警戒などの交通安全対策をNEXCOをお願いしているところでございます。

30ページに渋滞対策に向けてのそれぞれの機関への要望内容をまとめておりますので、御確認をお願いします。

続きまして、31ページから37ページ、参考となりますが、以前の委員会でも報告させていただきましたが、コストコが近年オープンした沖縄県南城市と東近江市の渋滞状況の変化を示しております。2つの店舗ともオープン時には渋滞がニュースとなりましたが、周辺道路が2車線であるため交通容量が不足したことにより渋滞が発生しているものと思われま。河本岩田地区にコストコが開業した場合でもオープン時には渋滞が予測されますが、4車線の県道、2車線の市道の合計6車線が確保されているため、沖縄県や東近江市と比較して交通容量に余裕があるものとなっております。

以上で建設課の説明を終わります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

ただいまの説明について質疑はございませんか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） いろいろ混雑しないような対策を考えていただいてありがとうございます。

質問なんですけど、17ページとか18ページとかそのあたりで現状と新拠点ができただけの場合の比較をされてるんですけど、ちょっと理解ができてないのかもしれないんですが、これってここにコストコだったりいろんな施設が入ることによって、それで交通量が増えるっていう意味でのシミュレーションなんですか。どういう交通量を想定してのシミュレーションなんですか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 18ページの開発後区間別混雑度につきましては、国土交通省が持っている将来の交通量のデータとプラス、コストコに限ったものではございませんが大型商業施設などが立地した場合の開発後の交通量をプラスした交通量で解析を行っております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（横山裕太君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） そこは、現状最後の資料で沖縄県とかほかのコストコのところの事例は出てますけども、一般的な大型商業施設が来た場合のシミュレーションということですか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） おっしゃるとおり、一般的な大型商業施設が来た場合の予測の交通量を足し込んでおります。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） 横山委員。

○委員（横山裕太君） もし分かればなんですけど、沖縄県だとかほかのコストコが建設されるときもこういうシミュレーションってしてると思うんですけど、そのときも同じように一般的な大型施設で検証して大丈夫かなみたいにやった結果、こんな沖縄県とかすごい混雑している状況になってるのか、その辺ほかの自治体なんであれですけど、どういう流れでやられたかお分かりでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 岡本建設事業部参与。

○建設事業部参与兼総合政策部参与（岡本和典君） さきの沖縄県及び東近江市の事例ですが、その自治体においてこういった検証をしてるかどうかというのは、正確につかんでおりませんが、一部渋滞対策といいますか、そういう予測は立てたというふうに聞いております。ただ、赤磐市の場合はいわゆるコストコっていうふうに限定したものでこの新拠点の整備を計画したものではありませんので、この新拠点の中に都市計画で呼び込んでいく想定施設といいますか、工場等、その他のものも含めた台数予測ということで今回検証しております。

他の自治体の場合はこういった手法でコストコは出店をされたということではなくて、コストコ限定で出店をされたものではないかと思われますので、予測の手法はやや違うかなというふうには感じております。

以上です。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） そうですね、そういうふうにやられてるということで、このシミュレーションのとおりいけば問題ないかなと思うんですけど、結局コストコが来るかどうかで大分変わってしまうのかなということで、やっぱり市民の皆様も混雑することが、コストコ来るところで一番の反対の理由だと思うので、予測は立てにくいところかと思うんですが、ほかの沖縄県とか東近江市の事例のときにどうだったのかっていうところも調べておいたほうが予測を立てやすいのかなと思うので、もし可能だったらそれはお願いしたいなと思います。

○委員長（金谷文則君） 答弁をされますか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） また新たに現在の渋滞状況とかの調査もやる必要があると考えておまして、その中で現状の詳細な調査をする中で、そういうコストコがオープンしたとこの事例についてももう少し詳細に調査のほう進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

横山委員。

○委員（横山裕太君） ありがとうございます。お願いしたいんですけど、仮に調査した結果、まだ渋滞緩和には足りないなみたいな話になったときに、また何か打てる策ってこれ以上あるのでしょうか。

○委員長（金谷文則君） 答弁を求めます。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 調査の中で、現状の解析だけではなく、その結果において渋滞が発生する箇所の渋滞対策の検討も当然業務の中で行ってまいりますので、それにつきましてはその業務の中で確認して、できること、できないことがありますけれども、極力渋滞が発生しないような施策を考えていきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（金谷文則君） よろしいでしょうか。

○委員（横山裕太君） はい。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんか。

私のほうから聞いてみたいと思うんですけども、この予測については、例えばこの間イズミが開店しました。それは多分反映されてないですね。それから、今コストコじゃない大型商業

施設ということでは言われてます。一般的なことですが、今赤磐市においてはコストコということになってるので、コストコが今どういう影響を及ぼすのかっていうのは一日中の交通渋滞についてのみんなの疑問じゃなくて、例えば朝夕仕事をする、帰る、行楽に行く、帰る、そういう時期にどうなるのかっていうのが皆さん心配で、その渋滞がどうなんだろうか、そのことについてしか興味は多分ないと、慢性的な渋滞のことっていうのは多分ずっと渋滞があったら皆さん生活できないんで、当然そんなことはできないと思うんですが、今のコストコの場合、日にこれが3,500台って書いてあるのがコストコではない一般的、じゃあコストコは1日にどれだけの車の量が、一番朝夕の人が出入りするときにあるのか。それから、イズミができました。それからあと、ナカシマの関係の会社はもう来たいということも、この後でやるわけですけどもそういう話があり、まだほかのところもある、道の駅の話もある、そういうものを考えたときに、この数字というのは本当にそうなんだろうかっていう疑問のほうが起こります。

それから、インターチェンジの話もありましたけど、当初、前市長のほうはインターチェンジを使って高速でよその地域から人を招き入れるんだということを書いてこられたと思います。そうなったときに、この評価が本当に正しいのか、これが正しいとするならば、これ絶対今の高速道路の会社のほうが甘く見とんじゃないかなと思うんですが、本当にそういうことを想定された、この安心度を皆さんに今プレゼンされたのか、そこの確認をお願いしたい。

それで、今の調査っていうのは、これは当然時間がかかるから随分前の交通量とかについての評価、多分2024年11月ですか、これをやってるのは、もう今2025年6月過ぎて、イズミもできて。そういうことも考えてくれた中で、本当にこれで大丈夫ですか。

それから、もし渋滞緩和しようとしたときに、交通政策、県のほうにお願いします。そうしたときに土地の買収から工事、その前に設計、計画をして土地の買収、それから工事、そうしたときに一般的にはどのくらいの期間が必要なのか、それもできたら教えてください。

○建設事業部長（桐谷文昭君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 桐谷建設事業部長。

○建設事業部長（桐谷文昭君） 今お示ししてますのが基本的な交通工学上の検討の全国ベースでやってるものを一応準用してます。現況については令和3年度に国勢調査といいますか、道路センサスという全国的に交通量を調査しますけども、そのデータを使って現況を再現すると。将来交通量も、これ同時に令和22年の将来交通量、令和22年にいろんな道路網がつながって、例えば美作岡山道路が今つながってませんがつながった想定とかも全部含めた将来交通量というのを出してます。その将来交通量と今回大型商業施設とか道の駅で発生する開発交通量をオンしたもので、その現況に対する交通量の増加がどれぐらいかっているのを見るものがこの資料になってます。これは、当然広域的なものでございます。

それと、あと交通量については日交通量なので、24時間交通量なのでピーク時を再現してい

るものではございません。なので、通常交通工学の解析上、そういう現況と将来推計を見比べて、交通量の例えば混雑度がどうなるかという検討をしたものがこれになります。

実は、コストコとかそういう店舗、何かそういう大型商業施設ごとの交通量の推計の手法というのはございませんので、だからコストコだとどれぐらいっていうのは基本的にはないものでございます。だから、全国的にどこも大型商業施設というカテゴリーの交通量をオンするというので解析はされてて、恐らく沖縄県南城市もそうでしょうし、東近江市も恐らくそういう計算をされてるといふところでございます。

さっき交差点解析の話もさせてもらいましたけども、単路部については当然車線数がほかの沖縄県とか市外に比べれば多いので、単路部についてはそんなに負荷がかからないと思ってるんですが、さっき言った交差点、特に新下市につきましてはやっぱりふだんからずっと渋滞してると、特に南から来る車があそこの右折と直左のところで渋滞が発生してるともございしますので、そこについては今県のほうに少しお願いをして、先ほど委員長のほうから期間的なものもございました。今のところ今年中には予算要求をして、一応用地買収をしない方向で車線の切替えていうのができそうということになってますので、そこについて来年度工事をしていただけないかということで要望して、県からは一応前向きに検討しますということで御了承を得てます。

ゆめモールもオープンしたんですけども、もともとあったものでございますので、それに対して今回リニューアルしたもの、当然マクドナルドもできてますんでどれぐらいオンをするかということも、少しそこについても当然ゆめモールができて、マックができてその交通が幾らかっていう基本的な数値というのはございませんので、そこについても、先ほど申しましたとおり、追加といえますか、さっき言った日交通量で出してるんですけど、ピーク時間帯っていうので検討はしてございません。だから、ピーク時間帯、例えば平日ですと朝ピークが朝6時から9時まで、夕ピークが夕方5時から8時までという3時間ですので、そこに対したまは渋滞調査、当然新しい店舗もできてますので、そこも踏まえた渋滞調査っていうのを追加でやった上でもう少し精度を上げていくということが必要なということで考えてございます。

○委員長（金谷文則君）　ありがとうございます。

基本的には、赤磐市にはいろんな会社が来ていただいて赤磐市が繁栄していく、その方向へかじを切っていかなきゃいけないというのはこれ大前提なんですよ。それで、今ここにあるのは令和22年のシミュレーションというのと、今ここで今まで議論されたあそこの新拠点整備の関係で、例えばコストコとかナカシマだとかは令和22年に創業をするんじゃないんですよ。もう二、三年のうちにやりたいということになれば令和10年のシミュレーションがないとどうもならない。そんなもの、会社自体も20年間、例えば継続してるかどうかということも分からない、それから新しい企業がもっと出てきてくれるかもしれない、それから人口がうんと減少して1万人ぐらい減ってしまうかもしれない、今の想定は多分4万人だからそうないとは思いま

すけど、そういうことから考えたときに、令和22年の話をしても何の意味もない。それは一つの指標ですから今回それはそれでいいとは思いますが、今ここで赤磐市民が一番気になってるのは令和10年前後のことなんです。だから、それを真剣に考えてやらないと、核心に触れないように触れないように持っていても、結論は先伸ばしになって、結果開けてみたらよかった、悪かった、じゃあどうしようって、元へ帰れないわけですよ。だから、リスクはリスクでどんどん心配なことをやっていかないと、前向きに考えていくためには必要ですよ。だから、新たに費用がかかるかもしれませんが、想定の仕事がないというんじゃなくて、想定を考えて、こういうときはこうなるんだということを、ぜひ執行部側、特に建設事業部の皆さん方にはお願いをしたいと思うんです。これは御検討いただいたり、それからインターチェンジの関係もよく、本当にこれで、さっきの話でよかったのか、これもう一遍考えていただきたいと思います。取りあえずお願いをしておきます。

ほかの方はよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、質疑は以上で終了したいと思います。

次に新拠点関連の件で、非公開で内容の説明が執行部からあるということでございますので、これから秘密会を開きたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、準備がありますので5分ほど時間をいただいて休憩、その間にもトイレがあればトイレに行ってください。11時20分ぐらいから始めたいと思います。議員の方は結構ですけど、傍聴者の方は退席をお願いします。

暫時休憩します。

午前11時14分 休憩

午前11時19分 再開

○委員長（金谷文則君） 再開します。

それでは、これから秘密会を始めたいと思います。

〔午前11時19分から午前11時42分まで秘密会〕

○委員長（金谷文則君） それでは、以上で秘密会は終了したいと思います。

5分程度休憩を取って、元の委員会へ戻りたいと思います。

暫時休憩します。

午前11時42分 休憩

午前11時45分 再開

○委員長（金谷文則君） 再開します。

それでは、秘密会の前に戻って委員会を公開としたいと思います。

改めまして、新拠点整備事業関連のことについて、6月12日にナカシマホールディングスへ

視察に行って、実は帝人と提携をしてた帝人ナカシマメディカルというところから帝人が取れて、新たに16日からはナカシマヘルスフォース株式会社ということで100%のナカシマの資本金会社、子会社ということで、今までオープンにできなかったことをある程度オープンにしてくださいというのを得ておりますので、この場所でナカシマの話ということで皆さん出していただいて結構かと思っておりますので、話をしていきたいと思っております。

私のほうから先に、この12日の視察のときにあったことを改めてここでお話をしたいと思っております。

特に、今まで一度もナカシマ、前は帝人ナカシマメディカルということだったんですが、ナカシマホールディングスが進出を希望してるんだという程度の話でございましたが、12日に産業建設常任委員会と市長、副市長、執行部含めて視察をした時点では、ナカシマのほうからは、以前から前市長のほうへも面会に上がって、ぜひナカシマとして赤磐市に進出したいんだと、それも今のメディカル 회사가本社機能まで移して赤磐市に移転をしたいんだということのを再三申し上げ、委員会等もぜひ議会のほうも視察に来てくださいということをお願いしておりました。それが前に進んでいなかったのは議会のほうが止めているんだというふうに前市長からもそういうふうな話であったというようなことを初めて聞きました。

私たちの委員会の中にコストコ、コストコっていう話はあったんですが、このナカシマのことについての話ってのはまずほとんど話されてなかった。しかし、行ってみたらナカシマのほうは早急に赤磐市の今のエリアに進出をする段取りをしていきたいんだというお話を中島社長のほうからも聞きました。産業建設常任委員会として、このナカシマ本社機能まで移して年間今100億円の企業が来たいというふうなことがあったのを、全然議論しないままここまで至ったっていうのは、これ大変なミスというか、赤磐市としても損な話だったんじゃないかなんていうふうに思いました。以前から話をして見に来てくださいって言ってたのにもかかわらず私たちが行けてなかったということは、再三ナカシマとか、それからコストコも同じようなことで赤磐市のほうに来ておられるというようなこともそこで聞きました。

それから、もう一つ大きな話としては、ここでよく問題になっておりました土地の民間業者について、コストコ、それからナカシマの代理店のような意味合いでの仕事をしてるんだというふうな話がありましたけども、何の契約もしてるわけではなくて、ただ土地がまとまったらその土地は、第一交渉権だけうちにさせてくださいねという話でしかないということで、随分私たちが今まで説明を執行部から受けてた内容と違うんじゃないかなんていうことが何か出てきました。それでまた、前市長と、それから今の民間事業者とが一緒になってナカシマのところへセールスに來られたということもそこで初めて聞きました。

そういう話がどんどん出てくるようでは、今の新拠点整備、本当にみんなで前向きに進もうというときに支障になる。それからの今のナカシマがそこまで思われるんだったらもっとみんなで、今凍結してるところについてももう少し議論を深めて、本来なら我々が道を先につ

くっておくべきものであったのではないかというふうな考えを持つところに至るまでのすばらしい話だったと思うんです。

そういうことを産業建設常任委員会の中でも議論はしますが、まず全員協議会で皆さんで協議して、議会でいろいろ議決していることについても、議長にお願いして全員協議会を開いてもらって、早急にコストコの話よりもナカシマについてみんなで議論を進めていく、そういうことが必要なんじゃないかなというふうに思いました。

それで、とにかく今まで聞いてなかったことが多過ぎる。特にコストコも、今市長になられた前田市長のほうも、前の副市長のときにもコストコおいでになって話があったとかということも直接あったと聞いておりますし、それからナカシマについてもひょっとしたらいろんな話が執行部、前市長が聞かれとったのか、それからここにおられる部長、室長、皆さん方も一緒に聞かれておって知っておられたのに黙っとったのか、いろいろ思惑が働いて、本当に市民のためにオープンにした情報公開になってなかったんじゃないかなというのを強く感じました。

これは、赤磐市にとって後ろへ進んでいきようするようなことを自ら執行部がしとったんじゃないかな。これは反省もしてもらわなきゃいけないし、もうそれが分かったのを後戻りするわけにいけないので、早く議会と執行部と、それから来たいという業者があるんだったら本当の声をみんな聞いて、本当にいいことであれば市民にも分かってもらって前に進める、そういうことが必要なんじゃないのかなというふうに思います。

このことを先に申し上げて、今の新拠点整備事業の関係で皆さんと協議、必要なことで御意見があれば御意見をいただきたいと思います。

皆さん、いかがでございましょうか。

○副委員長（行本大輔君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 行本副委員長。

○副委員長（行本大輔君） 先日、産業建設常任委員会で、今日時点ではナカシマヘルスフォース株式会社へ視察に行かさせていただきました。そのときに、本当に本社を移して2030年度までの雇用者数であったりとか売上見込みであったりとか、そしてまた冒頭には、前市長の頃から何度も赤磐市のほうには足を運ばさせていただいておりましたと、我々が初めて耳にしたようなことが出てきました。

なので、いつ、どのような形で来られて、どのような内容のお話があったのかの情報開示を求めます。

以上です。

○委員長（金谷文則君） ということは、コストコ、ナカシマがいつ頃来て、どんな話をしたのかということを経営部のほうへ出してくださいということですね。

○副委員長（行本大輔君） そうですね。

○委員長（金谷文則君） そうしないと、私もそう思いますけど、秘密になってることがあるんじゃないかなと思いますんで、市長、いかがでしょうか。

○市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 前田市長。

○市長（前田正之君） 先ほどからいろんなお話が出ております。私も4月に就任をさせていただきました。そして、以前は少し間が開いておりますが、副市長として務めさせていただいておった時期があります。先ほど委員長からいろんなお話がありましたが、実際のところ、私も市長に就任いたしまして、今までの前市長が述べられてきた展開と、ナカシマのほうへ出向いてお話を聞いた中では、私自身も知らないこと、それからそうだったかというようなことが分かってまいりました。

そんなことを含めまして、コストコも含めてですが、この新拠点事業につきまして、本当に議会のほうに御説明がちゃんとできてなかった。もっと言い換えれば正しく説明できてなかったこともあるんじゃないかというふうに思います。そういった意味で、私はこれからのこの新拠点整備事業、本当に急いで進めたいという気持ちはございます。しかしながら、しっかりと正しい情報をもって御説明をして、議会の皆さんに御理解をいただき、事業を進めたいという気持ちは就任したときから持っておりますので、今の御意見をいただきまして、いろんなことをこれから開示してほしいということだと思います。執行部のほうといたしましては、ちゃんとそのことを皆さんにお話しして、今までのことは今までのことで、私たち執行部も、首をそろえて反省をしたいと思います。その中で、これから皆さんと共に一緒になって事業を進めていきたいという方向で思っておりますので、そうやってやっていきますので、どうぞ御審査のほうお願いをしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○委員長（金谷文則君） 行本副委員長、よろしいですか、そういうことで。

行本副委員長。

○副委員長（行本大輔君） 分かりました。それではそのように早急に進めていただきたいと思っておりますので、ぜひともよろしくお願ひいたします。

以上です。

○委員長（金谷文則君） 他にございませんでしょうか。

○委員（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 佐藤委員。

○委員（佐藤武文君） 先般視察に行かせていただいて、我々産業建設常任委員会の委員もいろんな情報を聞かせていただいて、以前から関わっておった議員も全く知らなかったことがたくさん出てまいりました。

その中で、先方は大変急いでこの事業を推進していきたいという強い気持ちを持っておられたということもお伺いさせていただきました。しかしながら、先ほど市長が言われましたよう

に、我々議会としても手順を踏んでやらなければ、先方が幾ら急いでおるからといって、手順を抜くわけには私はいかないというふうに思います。そういうことの中で、きちっとした手順を踏んで、できるだけ急いで私は作業を進めていきたいです。要するに、我々は新拠点整備計画について反対はしておりませんし、そのことについて進めております。新拠点整備計画を今後どういうふうな形で進めていくかということをおと皆さんと議論を重ねてやらせていただきたい。

先ほど委員長のほうから御提案がありましたように、議会全員協議会でそのことについて議論を深めていこうというお話がございましたけど、私は議会全員協議会で、もちろん皆さんの意見を聞きながらこの事業は進めさせていただきたいというふうに思います。ぜひ議会全員協議会のほうで議論を深めさせていただきたいというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

他に御意見等ございませぬか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 私も佐藤委員と同じく議員全員の認識を統一してやらなければと、視察の後思ひました。それで、もう一丸となつて、できるだけ早く相手方の要望にこえれるようにやつてほしい。議会もそうせにゃいかんし、執行部もそれを進めていくと、そういうことでお願ひいたします。私はもう全力でやります。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございます。

基本は所管の委員会ですやる、産業建設のことはやっぱり産業建設常任委員会ですやらせていただかないといけぬんですけど、その議論した内容とか、それから皆さんの意見をお聞きしなければいけぬことについて全員協議会でしつかり皆さんと議論をしていただくということでお願ひいたします。協議をお願ひしたいという意味合いですので、うちの所管の委員会ですやる仕事をなくしてということじゃございませぬので、そこは理解をお願ひしたいと思ひます。

それで、皆さんにちよつとお諮りをしておきたいと思ひるのが、本会議中の委員会視察ですしております。通常なら、先ほど委員長報告は1つだけ、請願の関係だけになるんですけど、全議員のほうに議会中の報告、委員会視察ということで、ナカシマのことを委員長報告の中に少し盛り込みたいと思ひます。今までないことにはなりますけど、本会議中の視察ということで御報告したいと思ひますが、その件はよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、そのようにさせていただきます。

他にございませぬか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） それでは、その他委員、それから執行部から何かございましたら発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金谷文則君） ないようですので、以上で委員会を閉会したいと思います。

閉会に当たりまして、是松副市長より御挨拶をお願いいたします。

○副市長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（金谷文則君） 是松副市長。

○副市長（是松 誠君） 本日はお忙しい中、当委員会をお開きいただきましてありがとうございます。

委員会の中で様々な御意見、御提案ございました。今後の執行部の施策に生かしていきたいというふうに考えております。本日は大変ありがとうございました。

○委員長（金谷文則君） ありがとうございました。

以上をもちまして産業建設常任委員会を閉会したいと思います。

午後0時2分 閉会